



多嚢胞性卵巣症候群(PCOS)について

月経不順を見逃していませんか？

月経周期について
月経初日から次回月経初日までの期間を月経周期と言います。正常月経周期は25〜38日の間にあり、その変動は6日以内です。(日本産科婦人科学会より)

多嚢胞性卵巣症候群(cystic ovary syndrome)に由来と言われており、糖代謝異常や肥満、高血糖、高インスリン血症、多毛症、男性ホルモン作用の亢進、排卵障害、不妊、多嚢胞性卵巣症候群の診断基準は、ロンドン(以下PCOS)の病態は、卵巣の多嚢胞性変化(アンドロゲン)男性ホルモン(過剰)黄

過激なダイエット、ストレス、生活習慣の乱れが原因で月経不順を生じる場合もありますが、性成熟期女性20〜30歳代の月経不順は約80%が多嚢胞性卵巣症候群(PCOS)によるものです。①月経異常(無排卵)②不妊③多毛症(男性ホルモン作用)④肥満を伴う場合があります。

低用量ピルを用いる場合、無月経(3ヶ月以上月経が無い状態)を来した場合、カウフマン療法(女性ホルモンの治療に苦勞すること)が少なくありません。多嚢胞性卵巣症候群とメタボリックシンドローム

多嚢胞性卵巣症候群の治療方針(日本産科婦人科学会産婦人科診療ガイドラインより引用)

```

    graph TD
        A[妊娠の希望] -- あり --> B[排卵あり]
        A -- なし --> C[排卵なし]
        B --> D[黄体ホルモン療法  
低用量ピル  
カウフマン療法]
        C --> E[クエン酸クロミフェン(OC)  
排卵なし  
OC+メトホルミン  
または  
ゴナドトロピン療法]
    
```

一方、喫煙習慣のある女性が、低用量ピルを服用する場合は、PCOSを有する女性に性成熟期20〜30歳代以降、肥満の有無にかかわらず、高インスリン血症や高脂血症を伴いやすく、メタボリックシンドロームのリスク因子となります。

まとめ

PCOSは思春期以降、性成熟期(20〜30歳代)女性において、月経不順や不妊の原因になるだけではなく、糖尿病などのメタボリックシンドロームや子宮体がんなどのリスク因子でもあります。思春期から、更年期まで、月経不順を見逃さず、婦人科受診をお勧めします。(江本智子・ワイメンズクリニック・江本智子院長)